

# 日本の大学における教養科目としての 「韓国語学習」

——「中級クラス」受講者のアンケート調査結果をもとに——

文 嬉 眞・金 美 淑

## 1. はじめに

本稿は「日本の大学における教養科目としての『韓国語学習』」の現況とその現状分析を中心テーマとする論稿である。このテーマは前稿<sup>1)</sup>に引き続くものとして、愛知学院大学（以下、本学）における中級クラスの受講者を対象に実施したアンケート調査結果を分析したものである。本稿の主な構成は、本学で開講されている2年次以降で選択可能な中級クラスの全ての韓国語科目の受講者を対象に3回の設問調査を実施し、それを分析する内容となっている。具体的にいえば、本学で教養科目として開講されている韓国語初級を学習した後に、中級クラスに進級する学生が他の第2外国語に比べて多いということに着目した。その受講者の初級から中級クラスへの受講率、韓国語能力（自己評価）、学習到達目標、活用分野を調査し、「初級と中級」および「男女学生」の違いについて計量的な方法を用いて比較分析を行った。

前稿<sup>2)</sup>では、本学における韓国語の初級クラスの受講者の場合、受講前の学習到達目標を高く設定しているほど、その学習終了時の満足度が高いこと、また男女別では、男子学生に比べて女子学生が学習到達目標の設定が高く、その目標実現度も高いことを明らかにした。このような状況が中級クラスの受講者においても同様の傾向が示されるかどうかを確認するとともに、韓国語の学習現況を綿密に分析して、その結果をもとに本学の韓国語教育の方向設定や授業改善への取り組みの活用と反映を行うことを本稿の目的とする。

## 2. 韓国語中級クラスの開講科目について

本学の第2外国語としては、中国語、ドイツ語、フランス語、韓国語の4言語が開講されている。その中で教養教育科目としての韓国語科目について簡単に紹介すると、1年次から受講できる週1コマ15回授業の「韓国語Ⅰ・Ⅱ」（選択必修科目）と「韓国語Ⅰ・Ⅱ（基礎）」（選択科目）がある。その後2年次からの選択科目として「韓国語会話Ⅰ・Ⅱ」<sup>3)</sup>、「韓国語Ⅲ・Ⅳ（読解）」、「韓国語Ⅲ・Ⅳ（表現）」、「韓国語Ⅲ・Ⅳ（総合）」の8科目が開講されている。韓国語学習に意欲のある学生はこれらの科目を受講することにより、さらに上の中級レベルの学習内容へ進むことが可能となっている。

## 3. 初級クラスから中級クラスへの受講者数の推移

まず、本学の第2外国語の中級クラス科目の全受講者数〈表1〉を簡単に見てみると以下のとおりである。中級クラスの受講者数は2015年度春学期の場合、中国語は18名（4コマ）、フランス語は10名（3コマ）、ドイツ語は26名（3コマ）、韓国語は87名（6コマ）である。また2年後の2017年度春学期の場合、中国語は31名（4コマ）、フランス語は10名（2コマ）、ドイツ語は35名（3コマ）、韓国語は123名（6コマ）である。これはどの第2外国語においても中級クラスへ進級する受講者が増加傾向であることが示されている。2015年度と2017年度の中級クラスの受講者数の推移を見るとともに、第2外国語に対する学習意欲を持った学生が増えていることについて触れておきたい。

なお、2016年度は中級クラスのアンケート調査実施において、ある中級クラスの2回目のアンケートが未回収となり、有効な調査結果が見込めないと判断したため、本稿では採用していない。

〈表1〉第2外国語別中級クラスの受講者数<sup>4)</sup>（春学期のみの人数）

外国語 年度	中国語	フランス語	ドイツ語	韓国語
2015	18	10	26	87
2017	31	10	35	123

次の〈表2〉は2015年度と2017年度春学期の韓国語中級クラスのキャンパス別（日進キャンパスと名城公園キャンパス）の受講者数を表したものである。全体的に受講者数が増加する傾向を見せているが、2017年度の春学期の名城公園キャンパスの「韓国語会話Ⅰ」の受講者

数が2015年度に比べ4倍も増加していることが特に顕著である。

〈表2〉キャンパス別韓国語中級クラス別の受講者数（春学期のみ）

キャンパス 科目	2015年度		2017年度	
	日進	名城	日進	名城
韓国語会話Ⅰ	14	9	18	36
韓国語Ⅲ（表現）	15	9	21	
韓国語Ⅲ（総合）	16		26	11
韓国語Ⅲ（読解）	24		11	
計	87		123	

「/」はその年度に開講されていない科目を表す。

次に、韓国語受講者の初級から中級クラスへの受講率を調べるため、該当する中級クラスの前年度の初級クラス受講者数を把握し、前年度の初級クラスと次の年度の中級クラスの受講者数を〈表3〉にまとめた。なお、中級クラスの受講者全員が前年度に初級クラスを受講しているわけではないが、後述の項で示されているとおり、受講している者が圧倒的に多いため、本比較は有効なものとする。

〈表3〉初級クラスとその次年度の中級クラスの受講者数

年度（春学期）	2014年度 初級受講者数	2015年度 中級受講者（率）	2016年度 初級受講者数	2017年度 中級受講者（率）
外国語				
韓国語	470	87 (18.5%)	545	123 (22.6%)

初級から中級クラスへと進む受講者の比率を見てみると、2015年度の中級クラスは18.5%、2017年度は22.6%の受講率を示している。これはパーセンテージの増減について議論する訳ではなく、初級韓国語を学習した学生の約5分の1もの受講者が中級韓国語に関心を示し、上のクラスへ進むということは注目に値する。そして、このように上のクラスへの関心を示す受講学生が多いということを考えれば、韓国語を教える側の責任感を重く受け止める必要がある。

## 4. 中級クラス受講者に対するアンケート調査の結果と分析

### 4.1 アンケート調査の目的

上述したように、韓国語が他の第2外国語に比べて中級クラスに進む受講学生が多いことには、何らかの理由があると思われる。初級から中級クラスへと進む受講者が当該クラスを選択する現況を把握し、韓国語能力（自己評価）や学習到達目標、活用分野などを分析することに

より、学生の学習実態と要望に合う中級クラス授業の在り方を考え、授業改善に資するものとするのがそのねらいとなる。

## 4.2 調査の概要

本調査の概要は、以下のとおりである。

- 1) 実施時期 : 2015年度及び2017年度に各3回(春学期の2回目および14回目、秋学期の15回目)実施<sup>5)</sup>
- 2) 調査方式 : 無記名による選択回答及び記述形式
- 3) 調査対象 : 2年次以降の韓国語の全ての中級クラス受講者
- 4) 有効回答者数 : 下表のとおりとなる

実施時期 \ 年度	2015年度		2017年度	
	男性	女性	男性	女性
1回目(4月)	21	41	37	61
2回目(7月)	26	42	38	65
3回目(12月)	17	37	17	58

## 4.3 調査内容と回答結果について

### 4.3.1 アンケート回答者の男女・学年の内訳

2015年度および2017年度における春学期中級クラスの受講者に対して実施した有効回答者のみの調査結果を男女・学年別にまとめたものを以下の〈表4〉に示している。

それを学年別に見てみると、2年生が114人と最も多く、3年生が24人、4年生が12人と続く。本学の中級クラスの受講者の場合、2年生が圧倒的に多く、1年次の時に初級クラスを受講し、引き続き2年次に当該クラスを選択していることは注目に値する。

また性別の内訳では、男子学生が55名、女子学生が95名であって、女子学生のほうが多く受講している。そして、本学で1年次から受講可能な初級クラスの受講者数の男女別の内訳を調べてみると、2014年度の男子学生は202名、女子学生は137名、2016年度の男子学生は243名、女子学生は147名である。このように初級受講者数では男子学生が約1.5倍以上多く受講しているが、次の中級クラスでは女子学生が約2倍多く受講する状況になっている。その実態から考えると、女子学生の方が韓国語に対する上達志向と学習意欲の強さをもっていることが伺える。

〈表4〉男女・学年別（有効回答者数のみ）<sup>6)</sup>

性別 \ 学年	2年生	3年生	4年生	計
男性	47	6	2	55
女性	67	18	10	95
計	114	24	12	150

#### 4.3.2 韓国語学習期間と既習科目数

以下の〈表5〉〈表6〉は受講者の学習期間と既習科目数を表したものである。

韓国語学習期間をみると、1年以上2年未満の学生が73名と最も多い。これは中級クラスの受講者の主体が2年生であることと整合性が取れる結果となっている。しかし、その次に多いのは1年未満の学習期間の学生58名で、これは本学で2年生から選択可能な科目としておかれた「韓国語会話Ⅰ」（日進・名城公園キャンパスとも開講）に、学習期間が1年にも満たない学生が多く受講していることに起因している。

〈表5〉学習期間

性別 \ 学習期間	0年～1年	1年～2年	2年～3年	3年～
男性	30	21	1	1
女性	28	52	12	4
計	58	73	13	5

この調査の回答学生に対して、過去に受講したことがある韓国語科目について問うた結果が、〈表6〉のとおりとなっている。既習済みの科目<sup>7)</sup>としては2科目の83名が一番多く、次に0科目23名、1科目21名と続く。これも中級クラスは2年次生が多く受講していることで、1年次の時、韓国語初級科目を受講し、引き続き中級科目を選択する結果となっているためである。しかし、韓国語関連の未受講者も23名いることで、前述のとおり、「韓国語会話Ⅰ」クラスに多くみられ、調査の結果、23名中22名が当該科目を受講している学生であることが判明した。つまり「韓国語会話」科目について中級クラスに位置づけるかの問題はあるものの、本稿では2年次以降の受講可能科目であるため中級クラスの対象科目として含め、調査を行っている。

〈表6〉既習科目数

性別 \ 科目数	0	1	2	3	4	5	6	7	8
男性	15	9	30	0	2	0	1	1	0
女性	8	12	53	7	9	0	1	0	1
計	23	21	83	7	11	0	2	1	1

### 4.3.3 韓国語能力（自己評価）

中級クラスの受講者に対しては、韓国語能力（自己評価）に関する調査を実施し、1回目・2回目・3回目のアンケート調査をもとにその推移をまとめた<sup>8)</sup>。ただし、中級クラスには韓国語を初めて学習する学生も一定数存在するので、韓国語学習期間が1年未満の学生は除外し、1年以上の学習期間を有する学生のみをその対象に絞って男女別にまとめた結果が、以下の〈表7〉である。

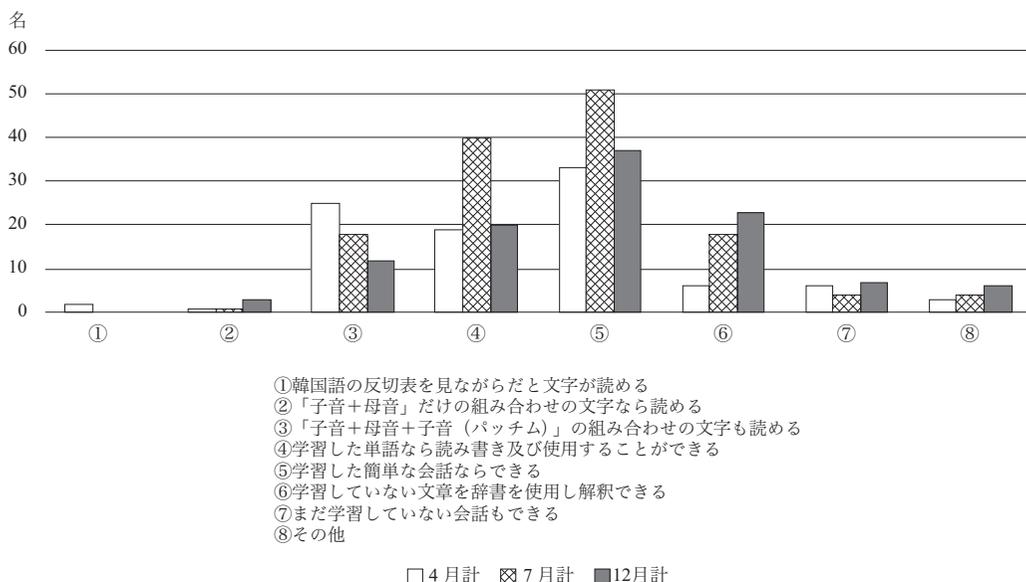
〈表7〉「学習期間1年以上」の男女別韓国語能力（自己評価）

韓国語能力	1回（4月）			2回（7月）			3回（12月）		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
①韓国語の反切表を見ながらだと文字が読める	1	1	2	0	0	0	0	0	0
②「子音+母音」だけの組み合わせの文字なら読める	0	1	1	0	1	1	1	2	3
③「子音+母音+子音（パッチム）」の組み合わせの文字も読める	10	15	25	12	6	18	6	6	12
④学習した単語なら読み書き及び使用することができる	7	12	19	11	29	40	8	12	20
⑤学習した簡単な会話ならできる	6	27	33	14	37	51	8	29	37
⑥学習していない文章を辞書を使用し解釈できる	0	6	6	2	16	18	2	21	23
⑦まだ学習していない会話もできる	3	3	6	2	2	4	1	6	7
⑧その他	0	3	3	1	3	4	1	5	6
平均値	4.1	4.6	4.4	4.4	4.8	4.7	4.4	5.2	5.0

韓国語能力のレベル別の人数（男女計）は、4月のアンケートの時点では「⑤学習した簡単な会話ならできる」が33名と一番多く、次に「③子音+母音+子音（パッチム）の組み合わせの文字も読める」が25名と続く。2回目の調査である7月の時点では⑤が51名と一番多く、4月の時点の調査と変わらないが、その次に多いのは「④学習した単語なら読み書き及び使用することができる」が40名と続くようになる。さらに3回目調査の12月時点になると、引き

続き⑤の学生が37名と一番多いのは変わらないが、その次に「⑥学習していない文章を辞書を使用し解釈できる」と答えた学生23名となっている。

これは4月から7月、そして12月へと学習期間の経過とともに、韓国語能力が確実に向上していることが読み取れる。また〈図1〉では学習期間1年以上の韓国語能力の1年間の変化をグラフに表している。このグラフは受講者の能力が向上していることを明確に表している。これはあくまでも自己評価ではあるものの、自ら韓国語レベルが確実に向上しているという実体験を測ったものとして、学習者における語学力に対する満足感（自信感）の現れを示しているものと思われる。



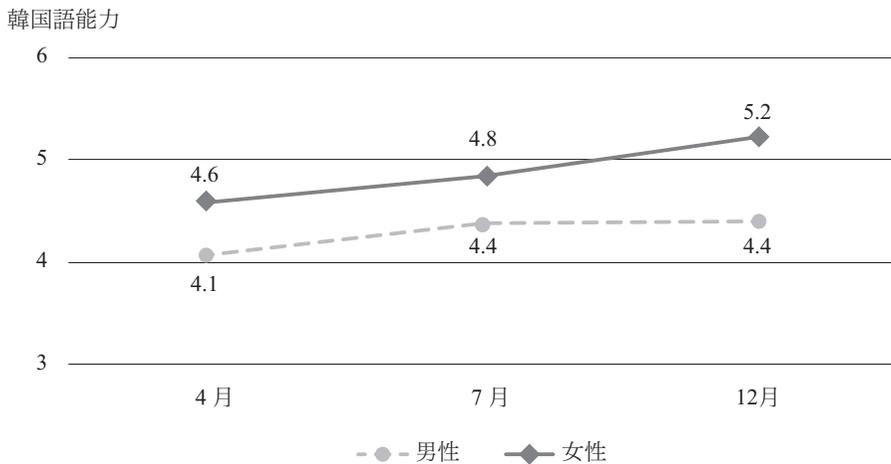
〈図1〉「学習期間1年以上」の韓国語能力（自己評価）の1年間の変化

次に、男女別に分析してみると、男子学生の韓国語能力の平均値<sup>9)</sup>は4月時点で〈4.1〉、7月時点で〈4.4〉、12月時点で〈4.4〉であったのに対し、女子学生の韓国語能力の平均値は4月時点で〈4.6〉、7月時点で〈4.8〉、12月時点で〈5.2〉という数値を示した。

男子学生の1年間の韓国語能力が平均的に〈4.1〉から〈4.4〉と「0.3」ポイント伸びているのに対し、女子学生の場合は〈4.6〉から〈5.2〉と「0.6」ポイント伸びていることがこの結果から明らかになった。

韓国語中級クラスのスタートの4月時点で韓国語能力を男子学生は「③」「④」「⑤」の順に、女子学生は「⑤」「③」「④」の順に回答しているものの、男女ともに韓国語能力の平均値は「④」と「⑤」のレベルの間にあることは変わらない。それが学習の終了時期に近い12月

の時点で女子学生の韓国語能力の平均値は〈5.2〉まで上昇し、男子学生の韓国語能力の平均値は7月時点の平均値と同じ〈4.4〉に留まっていることが分かる。この調査から、学習期間が長くなるに連れ、女子学生のほうが男子学生より韓国語能力がさらに高まり、その差が広がる傾向を示している。ここで問題点として取り上げるべきことは男子学生が一定期間で韓国語能力が伸びないと実感する理由である。それを探ることは今後の性別による能力の差を縮めることに繋がると考えられる。



〈図2〉1年間の韓国語能力の変化（男女比）

#### 4.3.4 韓国語学習の到達目標

本項では受講者自身が学習期間の経過に伴って、到達目標に変化が生じたかを設問調査したものである。〈表8〉は初級クラスの学生<sup>10)</sup>と中級クラスの学生（学習期間が1年以上の学生に限定）の4月・7月・12月（各1回・2回・3回）の到達目標別に回答した人数<sup>11)</sup>をまとめたものである<sup>12)</sup>。

この調査結果によると、韓国語初級クラスの学習スタート時点での到達目標の平均値は男子学生が〈2.0〉、女子学生は〈2.2〉であったが、1年間の学習期間が終了した3回目の調査の際では、男子学生は〈2.3〉、女子学生は〈2.5〉と、学習期間が進むことによって男女ともに到達目標が「0.3」ポイント向上している。ここで注目すべきことは2回目の到達目標の平均値が男女ともわずかではあるが、低くなる傾向を示しているという点である。この傾向は、1回目の4月段階で実施した調査はまだ文字を学習してない状態で、到達目標を少なからず高く置いたものの、学習進度が進むにつれ語学学習の難しさを感じるものが2回目の調査で現れ、3回目の1年間の学習期間の経過とともに韓国語の「読み書き」への自信感が備わった目標として

〈表8〉学習の到達目標（初級クラス～中級クラス）

到達目標	男性						女性					
	初級クラス			中級クラス (1年以上)			初級クラス			中級クラス (1年以上)		
	1回	2回	3回	1回	2回	3回	1回	2回	3回	1回	2回	3回
①簡単なあいさつができるまで	19	28	16	3	6	4	17	11	8	2	3	1
②簡単な会話が成り立つまで	39	29	32	9	14	14	36	40	38	15	20	21
③一人で韓国での旅行ができるまで	11	10	10	8	14	5	16	16	13	17	26	23
④簡単な本が読めるまで	4	3	3	2	3	3	2	2	1	5	10	12
⑤韓国語の検定試験に受かるまで	1	1	6	5	6	1	3	0	7	29	33	25
⑥その他	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	3
平均値	2.0	1.9	2.3	2.9	2.7	2.4	2.2	2.1	2.5	3.6	3.6	3.6

現れたものと推察される。

さらに、中級クラスの1回目（4月）の調査では男子学生の到達目標の平均値は〈2.9〉、女子学生は〈3.6〉と非常に高くなっている。1年間の初級クラスの韓国語学習が終了した後も、韓国語をさらに高いレベルまで学習したいという意欲の高い学生が多く中級クラスを選択していることが伺われる。

そして、中級クラスの学習期間が進むにつれ、男女間の差が生まれることになる。まず、男子学生の場合、中級クラスの4月の到達目標の平均値が〈2.9〉であったが、学習途中の7月には〈2.7〉、終了時の12月には〈2.4〉と逆に下がる結果となる。しかし女子学生の場合には〈3.6〉という4月の到達目標レベルが7月・12月とも変わっていない。このことから、韓国語中級クラスの学習者においては、男子学生よりも女子学生のほうが、さらに高いレベルの韓国語能力を身につけようとする動機づけと意欲の強さが見受けられる。

しかしながら男子学生の場合、中級クラスの授業を選択した時点では勉学意欲も高く到達目標も高かったが、中級クラスの授業の難しさとともに徐々に現実的に到達可能な範囲のレベルまで目標を下げていくと推察される。これは前述のような初級クラスにおける男子学生の到達目標が下がる傾向と同様の様子を見せていることから、それについての詳細な分析と改善方法を探っていくことが今後の課題となる。

#### 4.3.5 活用分野

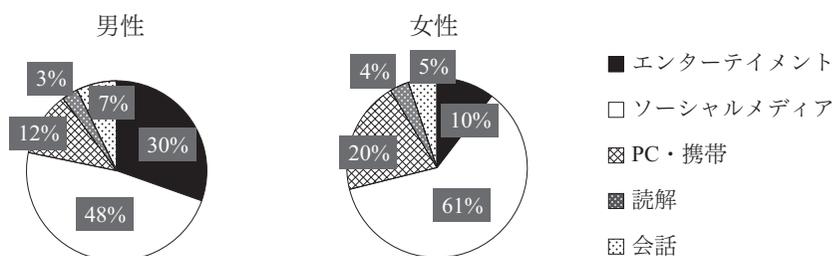
中級クラスを受講者に対し、身につけた韓国語能力を具体的にどのような場面で活用しているかを設問調査し、その回答結果を男女別にまとめたのが次の〈表9〉である。

〈表9〉韓国語の活用分野

目的	分野	項目	男性		女性	
			小計	合計	小計	合計
聞く (視る)	エンターテインメント	映画	10	21	1	24
		ドラマ	4		10	
		TV	0		2	
		音楽	7		11	
書く (読む)	ソーシャルメディア	youtube	13	33	57	141
		Facebook	0		3	
		SNS	5		7	
		Instagram	2		11	
		LINE	11		44	
		KakaoTalk	2		19	
	PC・携帯	検索	7	8	45	47
		PC 文章作成	1		0	
		メール	0		1	
		iPhone 言語設定	0		1	
	読解	翻訳	1	2	1	8
		手紙	1		6	
		本	0		1	
話す	会話	会話	4	5	6	12
		サイン会	0		2	
		バイト先	0		1	
		旅行	1		3	

上記の〈表9〉のとおり、エンターテインメントとソーシャルメディアの分野で活用している傾向が強く、特に youtube と検索機能の利用のために韓国語を使用している受講者が男女とも多く見られる。この結果から推察すると、映画、ドラマ、K-POP などの韓流文化に受講者が日頃から慣れ親しんでいることの現れだと判断される。この映像・音楽等に対する需要状況が、他の第2外国語と比較して中級クラスの受講者が多く、また韓国語学習に対する意欲を引き出している一つの主因だと考えられる。

その一方で、上記の調査結果として「読解」と「話す」分野で利用が少ない。また文法や語彙力を要する「読解」と、「話す」という実用的な会話の使用においてはその機会が非常に限られていることも明らかとなった。そのため、今後の授業改善のためにも会話ができる多くの機会と多様な語彙を使う学習機会を設けることが必要であると思われる。



〈図3〉韓国語活用分野（男女別）

上記の〈図3〉に見られるように、男女学生ともソーシャルメディアの分野において最も多く利用していることが示されている。その中で、男子学生の場合、エンターテイメントの分野において女子学生より韓国語を活用している割合が高く示されている。これは男子学生が女子学生よりエンターテイメントという「一人で楽しむ」ことができることを好む傾向を示している。これに対して、女子学生は男子学生よりも「誰かとコミュニケーションしながら繋がる」ことを好む傾向があると推察できる。以上の調査結果から韓国語の学習とその活用分野での男女間の相違点が見られる点が注目に値する。

## 5. おわりに

本稿は、本学の中級クラスを受講者を対象にしてアンケート調査を実施し、その調査結果から受講者の韓国語能力、学習到達目標、活用分野について分析を行った。これは初級クラス受講者を対象に実施した設問調査を分析した前稿<sup>13)</sup>に引き続くものであるため、初級から中級へ進級する受講者の内面的な志向をも含めて、明確にすることができた。

具体的には、韓国語を選択する中級クラスの学生は他の第2外国語と比べて多く、初級クラスが終了した後も引き続き韓国語学習を継続し、能力を高めたい学生が多いことである。また韓国語の活用分野で見られたように多くの学生が大学入学以前から流行している韓国の音楽・ドラマ・映画等の文化に慣れ親しんでいることである。これこそが他の第2外国語にはあまり見られない韓国語学習への親しみと学習意欲の原動力となっていることが伺える。さらに、韓国語能力や学習到達目標、韓国語の活用分野について男女学生の違いに一定の差が見られること、などをつまびらかにすることができた。この男女学生の差をどのように埋めるかは今後の課題であるものの、その活用分野で示されている内容から、男女学習者における韓国語使用分野の傾向に関わる知見が得られている。これらの側面も含めて韓国語の授業で積極的かつ実践

的に応用していくことも今後の改善策に繋がると思われる。

以上のような分析結果の明確性、信頼性をさらに高めるためには、受講者に対して実際の「実力テスト」を実施することをも視野に入れることも、今後の課題として考えておきたい。その際には初級クラスで実施している実力テストを中級クラスでも実施する計画である。

参考資料 実施アンケート

「韓国語中級クラス」に関するアンケート I (日進)

問1) 性別を教えてください。

- ① 男性                      ② 女性

問2) 学科と学年を教えてください。

問3) 韓国語の学習期間はどれくらいですか？

- ① 1年未満  
② 1年以上～2年未満  
③ 2年以上～3年未満  
④ 3年以上

問4) 昨年まで受講した科目に○をつけてください。

韓国語 I (必修)、韓国語 II (必修)、韓国語 I (基礎)、韓国語 II (基礎)  
韓国語会話 I (水2)、韓国語会話 II (水2)、韓国語 III (水3)、韓国語 IV (水3)  
韓国語 III (月2)、韓国語 IV (月2)、韓国語 III (木4)、韓国語 IV (木4)

問5) 現在受講している韓国語関連の科目をすべて記入してください。

問6) あなたの現在の韓国語の能力はどれくらいですか。(自己判断でよい)

- ① 韓国語の反切表を見ながらだと文字が読める。  
② 「子音+母音」だけの組み合わせの文字なら読める。  
③ 「子音+母音+子音 (パッチム)」の組み合わせの文字も読める。  
④ 学習した単語なら読み書き及び使用することができる。  
⑤ 学習した簡単な会話ならできる。  
⑥ 学習していない文章を辞書を使用し解釈できる。  
⑦ まだ学習していない会話もできる。  
⑧ その他(例・所持している韓国語関連の検定の級などー )

問7) 韓国語科目を選んでよかったと思いますか。

その理由を書いてください。

- ① はい                      ② いいえ

問8) 「韓国語」についてのイメージに変化はありますか。(自由記述)

問9) 大学の在学期間中韓国語をどのレベルまで学習したいと思いますか。

- ① 簡単なあいさつができるまで  
② 簡単な会話が成り立つまで  
③ 一人で韓国での旅行ができるまで  
④ 簡単な本が読めるまで  
⑤ 韓国語の検定試験に受かるまで  
⑥ その他 ( )



「韓国語中級クラス」に関するアンケートⅡ(日進)

問1) 性別を教えてください。

- ① 男性                      ② 女性

問2) 学科と学年を教えてください。

問3) 韓国語の学習期間はどれくらいですか？

- ① 1年未満  
② 1年以上～2年未満  
③ 2年以上～3年未満  
④ 3年以上

問4) 昨年まで受講した科目に○をつけてください。

- 韓国語Ⅰ(必修)、韓国語Ⅱ(必修)、韓国語Ⅰ(基礎)、韓国語Ⅱ(基礎)  
韓国語会話Ⅰ(水2)、韓国語会話Ⅱ(水2)、韓国語Ⅲ(水3)、韓国語Ⅳ(水3)  
韓国語Ⅲ(月2)、韓国語Ⅳ(月2)、韓国語Ⅲ(木4)、韓国語Ⅳ(木4)

問5) 現在受講している韓国語関連の科目をすべて記入してください。

問6) あなたの現在の韓国語の能力はどれくらいですか。(自己判断でよい)

- ① 韓国語の反切表を見ながらだと文字が読める。  
② 「子音+母音」だけの組み合わせの文字なら読める。  
③ 「子音+母音+子音(パッチム)」の組み合わせの文字も読める。  
④ 学習した単語なら読み書き及び使用することができる。  
⑤ 学習した簡単な会話ならできる。  
⑥ 学習していない文章を辞書を使用し解釈できる。  
⑦ まだ学習していない会話もできる。  
⑧ その他(例・所持している韓国語関連の検定の級などー )

問7) 韓国語科目を選んでよかったと思いますか。

その理由を書いてください。

- ① はい                      ② いいえ

問8) 「韓国語」についてのイメージに変化はありますか。(自由記述)

問9) 大学の在学期間中韓国語をどのレベルまで学習したいと思いますか。

- ① 簡単なあいさつができるまで  
② 簡単な会話が成り立つまで  
③ 一人で韓国での旅行ができるまで  
④ 簡単な本が読めるまで  
⑤ 韓国語の検定試験に受かるまで  
⑥ その他 ( )

問 10) 韓国語の学習後どこに役立てたいと思いますか。

- ① 旅行
- ② 音楽やドラマや映画などの鑑賞
- ③ 語学留学
- ④ 就職（語学能力をアピールするため）
- ⑤ 将来韓国語を使った専門的な職につきたい
- ⑥ その他（ ）

問 11) 約4か月間韓国語を学習しました。その間に自分の韓国語のレベルがどの分野で伸びたと思いますか。(複数回答可)

- ① 変化なし
- ② 発音
- ③ 文法
- ④ 語彙
- ⑤ 会話
- ⑥ 読解

問 12) 韓国語を活用しているところがありますか。

(例：検索・手紙・YouTube・ラインなど)

問 13) 韓国語の学習においてより分かりやすい学習をするために、取り入れてほしい点がありますか。今後の参考にするので教えてください。

問 14) 過去もしくは現在で受講している科目の他に、韓国語関連の授業で実施してほしい講義があれば詳しく書いてください。

「韓国語中級クラス」に関するアンケートⅢ(日進)

問1) 性別を教えてください。

- ① 男性                      ② 女性

問2) 学科と学年を教えてください。

問3) 韓国語の学習期間はどれくらいですか？

- ① 1年未満  
② 1年以上～2年未満  
③ 2年以上～3年未満  
④ 3年以上

問4) 昨年まで受講した科目に○をつけてください。

韓国語Ⅰ(必修)、韓国語Ⅱ(必修)、韓国語Ⅰ(基礎)、韓国語Ⅱ(基礎)  
韓国語会話Ⅰ(水2)、韓国語会話Ⅱ(水2)、韓国語Ⅲ(水3)、韓国語Ⅳ(水3)  
韓国語Ⅲ(月2)、韓国語Ⅳ(月2)、韓国語Ⅲ(木4)、韓国語Ⅳ(木4)

問5) 現在受講している韓国語関連の科目をすべて記入してください。

問6) あなたの現在の韓国語の能力はどれくらいですか。(自己判断でよい)

- ① 韓国語の反切表を見ながらだと文字が読める。  
② 「子音+母音」だけの組み合わせの文字なら読める。  
③ 「子音+母音+子音(パッチム)」の組み合わせの文字も読める。  
④ 学習した単語なら読み書き及び使用することができる。  
⑤ 学習した簡単な会話ならできる。  
⑥ 学習していない文章は辞書を使用しながら解釈できる。  
⑦ まだ学習していない会話もできる。  
⑧ その他(例・所持している韓国語関連の検定の級などー )

問7) 韓国語科目を選んでよかったと思いますか。

その理由を書いてください。

- ① はい                      ② いいえ

問8) 「韓国語」についてのイメージに変化はありますか。(自由記述)

問9) 大学の在学期間中韓国語をどのレベルまで学習したいと思いますか。

- ① 簡単なあいさつができるまで  
② 簡単な会話が成り立つまで  
③ 一人で韓国での旅行ができるまで  
④ 簡単な本が読めるまで  
⑤ 韓国語の検定試験に受かるまで  
⑥ その他 ( )



## 参考文献

- ・オゴシ ナオキ (2015) 「日本の大学の韓国語教育と韓国語教育過程」『国際韓国語教育학회 제25차 국제 학술대회 논문집』
- ・オギノ 신사쿠 (2015) 「日本の大学内 교양으로서의 한국어 교육 발전 방향 연구—국립 시즈오카대학의 한국어 학습자의 요구분석 결과를 중심으로—」『국제한국어교육학회 제 25 차 국제 학술대회 논문집』
- ・金敬鎬 (2009) 「日本語母語話者の韓国語学習に関する意識調査」『日白大学人文学研究』第 5 号
- ・朴珍希 (2016) 「日本における韓国語教育に関する研究—大学の韓国語学習者調査にみる現状と課題—」『岡山県立大学教育研究紀要』第 1 卷 1 号
- ・文嬉眞・金美淑 (2014) 「日本の大学機関における「韓国語学習」—愛知学院大学の「韓国語」選択必修科目に関するアンケート結果とその分析 (1) —」『愛知学院大学教養部紀要』第 61 卷第 4 号
- ・文嬉眞・金美淑 (2015) 「日本の大学機関における「韓国語学習」—愛知学院大学の「韓国語」選択必修科目に関するアンケート結果とその分析 (2) —」『愛知学院大学教養部紀要』第 62 卷第 3 号
- ・文嬉眞・金美淑 (2018) 「日本の大学における第 2 外国語としての韓国語教育の位相と現況—愛知学院大学の必修科目を事例として—」『韓国語教育研究』第 8 号

## 注

- 1) 文嬉眞・金美淑 (2014) 「日本の大学機関における「韓国語学習」—愛知学院大学の「韓国語」選択必修科目に関するアンケート結果とその分析 (1) —」『愛知学院大学教養部紀要』第 61 卷第 4 号  
文嬉眞・金美淑 (2015) 「日本の大学機関における「韓国語学習」—愛知学院大学の「韓国語」選択必修科目に関するアンケート結果とその分析 (2) —」『愛知学院大学教養部紀要』第 62 卷第 3 号  
文嬉眞・金美淑 (2018) 「日本の大学における第 2 外国語としての韓国語教育の位相と現況—愛知学院大学の必修科目を事例として—」『韓国語教育研究』第 8 号
- 2) 文嬉眞・金美淑 (2015)
- 3) 本科目は 2 年次生以降の選択科目であるけれども、韓国語未学習者も選択している。
- 4) 受講者数は 2015 年度と 2017 年度の春学期の各中級クラス受講者数を合算したものである。
- 5) 2016 年度の中級クラスのアンケートは一部未回収であったため、2016 年度のアンケートは有効性なしと見なす。
- 6) 2015 年度と 2017 年度の春学期中級クラスアンケート回答者数の合計は 160 名であるが、学年について 10 名が無回答であったため、合計者数が 150 名となっている。
- 7) 科目数の数え方は学期ごとの科目をそれぞれカウントしている。例えば、1 年次の「韓国語 I」と「韓国語 II」は 2 科目を既習科目と数える。
- 8) 文嬉眞・金美淑 (2015) において、初級クラス (1 年次) の終了時点での韓国語能力の平均値は、男子学生は「3.8」女子学生は「4.6」であった。
- 9) ①～⑧の項目をそれぞれ 1～8 のレベル段階に数値化したときの平均値。
- 10) 初級クラスのデータは文嬉眞・金美淑 (2015) による。2013 年度の調査。
- 11) 中級クラスは 2015 年度と 2017 年度の調査人数を合算したものである。
- 12) ⑥その他の内訳 (自由記述) は、初級クラスは「単位がとれればいい」、「中級クラスの 2 回目は「韓国語

のように」3回目は「会話をもっとできるようになるまで、字幕なしで映画がみられるようになるまで、少し難しい会話ができるまで」であった。

- 13) 文嬉眞・金美淑 (2014)
- 文嬉眞・金美淑 (2015)
- 文嬉眞・金美淑 (2018)